

学校評価アンケート 記述内容について

今年度の学校評価アンケートにご協力いただきまして、まことにありがとうございます。
多くの保護者の方々に多くのご意見をいただきました。主だったものにつきまして、回答を記載させていただきます。

平成29年度も「学校・家庭・地域がともに手を取り合い、子どもを見守る学校」をめざして教育活動を推進していきたいと思えます。

< 学校行事 >

【運動会】

- ◆運動会で児童数が減ってきていて、時間にゆとりがでてきていると思うので、早めの終了でもいいと思えます。下校時間を早くすることや、それが難しければ振り返りの時間を行う対応もできるのではないかと。
- ◆運動会において、炎天下での長時間は児童にとってよくない。児童席にテントがいるのではないかと。

～学校としての考え～

- 今年度の実施状況をふまえて、来年度のプログラムを考えていきたいと思えます。実施時間についてはご指摘のとおり、内容をつめこみすぎず、また、逆の間のびしないように工夫していきたいと思えます。
- 児童席のテントの必要性は、本校でも非常に重要なことだと考えています。今年度、PTAの方々にご協力いただき、テントを6張購入しましたので、来年度の運動会をはじめ、今後の教育活動に活用していきたいと思えます。ただ、これで全校児童へ対応ができるというところまでの数ではないので、その都度、他校や地域が持っているテントを借用するなど相談をさせていただきたいと思えます。
- 少数意見として組立体操の安全性や親子競技の充実など、多くのご意見をいただきました。すべての要望を実現させることは検討及び準備が必要で、なかなか難しいですが、子どものよりよい成長をめざしていく上で、どんな取組が必要なのかしっかりと検討していきたいと思えます。

【みどりっ子フェスタ】

- ◆みどりっ子フェスタは体育館での学年発表は大変よかった。他学年のものも見ることでできてよかった。
- ◆みどりっ子フェスタで教室発表がなくなってしまい残念です。
- ◆みどりっ子フェスタで金管・カラーガード部の発表が見にくかった。前の人立たないような呼びかけや、パイプイスを交互に置くなどの座席の配置に工夫がほしい。
- ◆みどりっ子フェスタで、舞台前のスペースがかなり空いており、学年によって使うスペースが違っていた。保護者席をもう少し前にしてもいいのではないか。
- ◆みどりっ子フェスタで体育館発表をしている学年以外は自習だったと聞いている。自習にするくらいなら平日開催にして学年で時間を区切り、自習をなくした方が弁当もつくなくていいし、親の負担が減るのではないか。
- ◆みどりっ子フェスタで早口や小さな声の児童が多い。舞台上で発表するノウハウがあまりないようである。事前に経験を積み重ねる必要があると思います。

～学校としての考え～

- 今年度、体育館による学年発表に統一しました。教室発表には教室発表のよさがあり、なくなったことに対して残念だという声もありますが、学年(大集団)が同じ目標に向けて一致団結して取り組み、一つのものをつくり上げるということを最重要視しました。来年度についても、発表内容の見直しは必要かもしれませんが、発表の方法については今年度と同様に考えています。
- 保護者席については、「発表学年優先席」「一般席」「カメラ席」と大きく分けさせていただきましたが、なかなか思うように見えなかったというご意見をいただきました。みなさんがきちんと子どもの発表を見ることができるよう、席の配置などにも工夫をしていきたいと考えています。
- 今年度の取組として、発表学年以外は教室で授業等の活動を行っています。しかし、発表学年の教員(2人)だけでは、子どもへの指示や照明や音響、小道具の準備などのサポートが行き届かず、6年生児童及びペア学年の教員がサポートする体制を整えました。その時にはどうしても一時的な自習等の対応が生じてしまいます。できるだけ自習をなくすように工夫をしていくつもりですが、子どもが満足のいく発表を行うためには、教員間でのサポートが必要不可欠であることをご理解いただけるとありがたいと思います。
- みどりっ子フェスタの平日開催をという意見がありました。休日開催と平日開催ではそれぞれ一長一短あります。本校の保護者のみなさまの実状を見てみますと、共働きのご家庭が多くあります。多くの保護者の方に参観していただきたいという願いを考えると、平日開催よりも休日開催の方が多くの保護者の方に来校していただけるのではないかと考えています。

【授業参観】

- ◆授業参観の授業はあまり興味のある内容ではない。
- ◆授業参観で体育や音楽が見たい。
- ◆授業参観が1月と2月にあるのは、仕事をしている人からすると、休みが取れずに苦しい。来れる人がと考えているかもしれないが、実際に行かないと子どもがさびしい思いをする。保護者に負担のない授業参観であってほしい。1月は書き初め展覧会の案内でいいのではないか。
- ◆ふれあい学習会と北中学校の授業参観の日時が重なっており、兄弟がいたが両方には行くことができずに残念でした。緑丘小と北中の行事を配慮していただければと思います。

～学校としての考え～

- 本校では行事等を除き、授業参観では「特別に見せるための授業」ではなく、「ふだん行っている授業」を見ていただくというスタンスで行っています。その中で魅力ある授業を見ていただけるよう、今後も努力していきたいと考えます。また、本校で研究として進めている算数や、子どもの心を豊かにするための道徳を見ていただけるような機会を設けていますが、体育(保健含む)や音楽など、多岐に渡って見ていただけるよう、工夫していきたいと考えます。
- 授業参観の回数としては、来年度も今年度と同じような形で進めていきたいと考えています。考えとしては、月に一度は学校に足を運んでいただけるような機会を設けていきたいという意図からです。ご家庭によっては仕事のご都合で難しいこともあるかもしれませんが、ご無理のない範囲で足を運んでいただければと思います。
- 本校と北中学校で授業参観が重なってしまったことは、配慮不足で大変申し訳ありませんでした。来年度については、こうしたことが起こらないように、互いの学校行事予定をよく見合い、保護者のみなさまに対して、不都合の起こらないようにしていきたいと考えます。

【その他】

- ◆ありがとうコンサートで3学級合同は学級のカラーが出せない。学級で協力し合い、つくりあげる楽しさを味わわせるために、学級で行ってほしかった。
- ◆他校の遠足の話聞き、うらやましい。年1回でも遠足があるとうれしい。
- ◆持久走大会や運動会において「もしも」のためのAEDはどこに設置されているのでしょうか。周りの人が知っていることで、いざというときに役に立つのではないのでしょうか。
- ◆卒業式への参加について、学年の制限は改善できないか。小さい子を家で留守番させておくことも気になります。

～学校としての考え～

- 6年生の「ありがとうコンサート」については、どのような形で取り組んでいくか、検討していきたいと考えています。
- 「遠足」がないという考えでなく、「校外学習」という名称となり、学習した内容とからめて取組を進めていると受け止めていただけるとありがたいと思います。内容については、学年にもよりますが「岡崎城・岡崎公園」「リトルワールド」「工場見学」「鞍ヶ池公園」「東山動植物園」などと、子どもたちが魅力を感じられる場所に、半日もしくは終日(弁当持ち)で出かけています。
- 安全面におけるAEDについてのご意見をいただきました。ふだんは職員室の前に常設しており、いつでも取り出せるようになっています。校内持久走大会の時は、学校のものはもちろんですが、桜公園にもお願いがしてあり、もしもの時には桜公園のAEDを使うことになっています。夏の水泳授業の時期には、AEDを毎日プールに持っていき、もしもの事態に備えながら授業を実施しています。
- 卒業式での学年を制限とした参加について、これまでは卒業学年児童数が多く、卒業児童保護者席を確保するためには、どうしても参加学年を制限する必要がありました。しかし、ここ数年で児童数が減少しているため、来年度については今年度の様子をもとに、再度検討していきたいと考えています。

< 授業、学習 >

- ◆音読集の暗唱を行っているが、他校では読むことはあっても暗唱していないところがある。児童は貴重な休み時間を使ってまでやっているが、音読集を暗唱する目的を教えてほしい。

～学校としての考え～

○暗唱は音読集に限らず、学習に対する意欲づけの一つとなっています。一生懸命にがんばって練習し、暗唱できたときの子ども笑顔は大変すばらしいと感じています。また、子どもは一つの学習をやり遂げた達成感や充実感を味わうことができ、とても大きな意味のある取組だととらえています。

- ◆月例テストが金曜日だと、十分に家庭学習ができない。土日にしっかりと勉強して月曜日に月例テストはできないのか。
- ◆命の授業や性教育にもう少し力を入れてもらえるとうれしい。やっているなら、家庭での教育をどの程度まですればいいのか判断材料としたので、学校でどの程度まで行っているのか教えてほしい。
- ◆5年生から家庭科が始まりますが、「エプロンをつくる」→「調理実習」の過程を組んでいただくと助かります。自分でつくったエプロンを自分で使うことが、大きな意味があると思います。

～学校としての考え～

○ご意見について、たしかにそう思う部分もありますので、来年度に向けて検討していきます。

- ◆テストなどで間違えたときに、答えは教えてもらえるのだが、なぜ間違えたのかを教えてくれない。きちんと教えてほしい。
- ◆テストの平均点を子どもに伝えてもらえると、自分自身のがんばり度合いが分かるのではないのでしょうか。
- ◆高学年になり学習内容が難しくなっています。1学級あたりの人数を減らすなどの、少人数指導は行わないのでしょうか。

～学校としての考え～

○子どもたちが学習に対して意欲的に取り組むことができるように、そして「できた」「分かった」という授業をめざして、指導の工夫を考えていきます。

○子どもたちに「自分で振り返る力」「自分で考えを問い直し、間違いを正していく力」を指導していきたいと考えています。

- ◆家庭科の調理実習で家庭から材料を分担して持ってくるのではなく、実費清算でも構わないので、学校で準備ができないか。いろいろな家庭から持ってくるということもあり、衛生面でも気になる。

～学校としての考え～

○家庭科に限らず、学習に関係する物をすべて学校で準備をして、その分の費用を徴収するということがそのものは可能だと思います。しかし、学校における学習とは、知識や技能さえ習得できればいいというものではなく、そこに至るまでの過程も大切にしています。単に与えられた物で決められた学習をするのではなく、学習のために必要な物を自分の力で準備(グループによる相談などでの分担もあります)することも大きな学習だと考えています。各ご家庭には負担をおかけしてしまうこともあるかもしれませんが、ご協力をお願いできたらと考えています。

< 施設、設備 >

- ◆トイレのドアの鍵がしまらないところがあるようです。逆にいったんしまると、なかなか開かないところもあるそうです。学校のトイレを一度点検してもらいたい。
- ◆ハンドボールのゴールの下敷きになってしまった児童の話がありました。ゴールに限らず、校内の危険箇所の点検をよろしくお願いします。

～学校としての考え～

○本校は開校から20年が経過します。ちょうど施設・設備にも不具合が生じてくる年数だと言われています。毎月、職員による施設設備安全点検や、業者による遊具等の安全確認定期点検を実施していますが、不具合を発見しだい、みよし市教育委員会と連絡を取り合い、できるだけ早期対応できるように心がけていきたいと思っています。